

**「地域密着型金融の恒久的な取組み」の進捗状況  
(平成19年4月～20年3月)**

平成20年5月  
株式会社 千葉興業銀行

当行は、平成 19 年 11 月に「地域密着型金融の恒久的な取組み」を策定・公表いたしました。地域金融機関として地域密着型金融を継続的に推進していくことが、当行の経営理念である「地域とともに、お客さまのために、親切の心で」に叶うものであるとの同計画の考え方に基づき、地域の中小企業・個人事業主及び個人のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えし、円滑な資金供給に努めるとともに、新商品の開発等サービスの向上に努めてまいりました。

具体的には下記「ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化」「事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底」「地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献」の 3 つの大項目を柱として取組んでまいりました。平成 19 年 4 月から平成 20 年 3 月までの取組み実績は以下のとおりです。

## 1. 地域密着型金融の取組み実績（平成 19 年 4 月～平成 20 年 3 月）

### （1）ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

#### イ. 創業・新事業支援機能の強化

フジサンケイビジネス・アイ主催による「千葉元気印企業大賞」に共催し、今年も第 13 回として平成 20 年 2 月に元気印企業大賞の他、優秀製品・サービス賞、優秀技術賞、優秀経営賞、ベンチャー賞、地球環境貢献賞の表彰を行いました。「ベンチャークラブ千葉」「ベンチャーカップ CHIBA」等への活動に参加し、創業企業・新事業の発掘・支援に努めてまいりました。

また、千葉大学が開催する「オープンリサーチ」や千葉県中小企業団体中央会が主催する「ビジネスマッチングフォーラム in 千葉」に参加し、産業クラスター計画サポートローン等の各種サービスの紹介を行ってまいりました。

#### ロ. 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化

千葉大学の TL0 会員になる事で、大学の知的保有財産の紹介やビジネスマッチング・営業斡旋活動を積極的に行った他、千葉県・ちばの「食」産業連絡協議会が主催する「ちばの恵み新発見 見本市・商談会」への参加企業の斡旋やバイヤー企業への来場誘致活動を実施しました。

また、19 年 4 月に中小企業への新入社員向け「マナースクール」を開催、7 月には木更津地区におきまして楽天株式会社とタイアップした「販売力強化セミナー」を開催する等、お取引先企業の支援を強化してまいりました。

#### ハ. 経営改善支援・事業再生に向けた積極的な取組み

（イ）平成 19 年度は「経営改善支援先」として※258 先を選定し、経営改善計画策定支援及び経営改善に向けた助言指導等を継続的に実施するとともに、お取引先企業の経営課題解決に適切にお応え出来るよう外部専門家（公認会計士・中小企業診断士・経営コンサルタント会社等）の活用を積極的に行っております。その結果、平成 19 年度は「経営改善支援先」のうち 49 先（上期 33 先、下期 16 先）について債務者区分のランクアップが図られ、13 先の「経営改善計画」を策定しております（新規計画策定 5 先、従前の計画終了に伴う再計画策定 8 先）。

また、「初期延滞管理」及び「資金繰り注視先管理」の運用を強化し、お取引先企業の経営状況悪化の早期把握に努めた結果、業績悪化傾向にあったお取引先企業 2 先について、外部専門家（経営コンサルタント会社）を活用したスポンサー支援・事業の再構築等の経営改善支援に着手しております。うち 1 先については、平成 19 年度中にスポンサー支援且つ「経営改善計画」策定が完了しております。

※「経営改善支援先」…平成 19 年度上期 355 先を選定しましたが、下期に一層の効果的運営とするため選定基準の見直しを実施し、新たに 265 先（正常先 7 先を除き 258 先）を選定致しました。

（ロ）事業再生支援については、地域金融機関として地域経済の活性化・雇用確保のうえで重要な使命であると認識し、中小企業再生支援協議会の機能を活用し積極的に取組んでおります。平成 19 年度は、お取引先企業 1 社について、中小企業再生支援協議会の再生支援が決定しております。中小企業再生支援協議会の再生支援決定先で再生計画策定中の先は 3 先となっており、平成 20 年度上期中のクロ

ージングを目指しております。うち 2 先については、千葉中小企業再生ファンドの活用を検討しております。

## (2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

イ. 中小企業再生支援協議会支援決定先を中心に、再生企業に対するエグジットファイナンスについて継続的に取組んでおります。定期的に中小企業再生支援協議会及び千葉中小企業再生ファンド運営会社との個別検討を継続しております。

ロ. 政府系金融機関との協調融資によるメザニン投融資やシンジケートローン等を活用したエグジットファイナンスについても、平成 20 年度上期中の組成を目指し取組んでおります。

ハ. 「再チャレンジ支援」の観点を踏まえ、信用保証制度等を活用した DIP ファイナンスへの取組みについても検討してまいりましたが、平成 19 年度は対象先がございませんでした。引続き地元中小企業を対象に取組んでまいります。

ニ. 平成 19 年度は「経営改善計画」の進捗状況が良好なお取引先企業 3 先に対して、「経営改善中小企業者向け融資制度」を活用し合計 330 百万円の資金面のサポートを実施しております。引続き「経営改善計画」策定先のモニタリングを強化し、資金面のサポートを実施してまいります。

ホ. 経営改善支援先への資金供給手法として、動産・債権譲渡担保融資についても積極的に取組んでおり、動産・債権譲渡担保融資の取組みとして、株式会社ゴードンブラザーズジャパン、トゥルーバグループホールディングス株式会社と業務委託基本契約を締結致しました。お取引先企業 1 先に対して、政府系金融機関と連携した ABL による運転資金枠組成を検討しており、在庫評価方法として株式会社ゴードンブラザーズジャパンの活用を予定しております。

## (3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

イ. 当行の情報機能・ネットワークを活用した支援

(イ) 当行のお客様の会である「興友会」や若手経営者のための会である「経営塾」を通じ、お客様同士の商流発生等の側面支援を行っております。19 年 4 月には「千葉興友会」を約 7 年ぶりに再開し、地域経済活性化に向けたネットワーク構築に努めてまいりました。

(ロ) 若手経営者の会である「経営塾」の塾生向け各種セミナー、勉強会を計 9 回開催し、地域経済の発展の為に不可欠な次世代育成に努めてまいりました。中でも「オーナー中小企業経営者のためのリスクマネジメント講座」につきましては、地元学校法人である千葉商科大学との連携ご協力を頂き、実現したものです。

(ハ) 産業振興センター、ジェトロ等の諸団体と連携する事で、外部専門家を地元中小企業に紹介しております。また、M&A や ISO 取得等のニーズにつきましても各種専門家と連携を図り、金融面での地域社会の活性化、持続的な成長に積極的に関わって参りました。

(ニ) みずほ信託銀行やみずほコーポレート銀行と連携し、手形債権流動化、診療報酬債権流動化に取組み致しました。また、県内 PFI 案件にみずほコーポレート銀行と連携して応募する等、みずほコーポレート銀行の持つ豊富なノウハウと当行の持つ地域情報を最大限に活用し、金融面での地域社会の活性化と環境関連事業の発展に積極的に関わって参りました。

(ホ) 中小企業再生支援協議会や千葉中小企業再生ファンドの活用による地元中小企業の再生支援に継続的に取組んでおります。平成 19 年度は、お取引先企業 1 先について中小企業再生支援協議会の再生支援が決定しております。中小企業再生支援協議会の再生支援決定先で再生計画策定中の先は 3 先となり、平成 20 年度上期中のクロージングを目指しております。うち 2 先については、千葉中小企業再生ファンドの活用を検討しております。また、中小企業再生支援協議会及び千葉中小企業再

生ファンド運営会社と定期的に対象先の個別検討を実施しております。

#### ロ. 地域の利用者保護の徹底と利便性向上

(イ) お客さま保護等に関する管理態勢を一層強化することを目的として、常務取締役を委員長とする「お客さま保護等管理委員会」を設置し、説明義務を果たす態勢の一層の充実、お客さまから寄せられたご意見・要望・苦情への対応態勢の一層の充実、お客さま情報の管理態勢の一層の強化・充実に努めてまいります。

(ロ) お客さま満足度向上を目指して、19年10月に無作為に抽出させていただいたお客さま（法人・個人）に「アンケート形式」による顧客満足度調査を実施し、調査結果は詳細に分析し、商品開発やサービスの改善等に反映させていただいております。

また、地域のお客さまのライフプランニング、特に高齢者・小中学生のお子さまに対する金融知識の普及に努めております。地元の小・中学生に「銀行の仕事と役割」等を理解していただくために職場体験学習を営業店ごとに実施しており、平成19年度は7回営業店で実施いたしました。8月には大学6校から合計29名のインターンシップの受け入れも行ってまいります。

さらに、退職前後に必要な年金・健康保険などの基礎知識を解説するセカンドライフセミナーや相続・遺言セミナー等各地で開催して金融知識の普及に努めております。

#### ハ. 地域貢献等に関する情報開示等

(イ) ディスクロージャー誌、ミニ・ディスクロージャー誌において「地域のコーナー」を設け、地域のお客さまへのお取引の状況について、グラフや図表を用いてわかりやすい説明に努めるほか、「地域密着型金融の恒久的取組み」のコーナーでは、数値目標を含めた取組状況について積極的な情報開示を実施しております。また、新商品・新サービスの取扱開始等に関して積極的なニュースリリースを実施することで、新聞紙面を通じて地域のお客さまへの当行の金融サービス提供についてタイムリーにご紹介しております。さらに、ディスクロージャー誌やミニ・ディスクロージャー誌、またニュースリリースについては、ホームページに掲載し、いつでもご覧いただけるよう情報公開しております。

(ロ) 平成19年4月には、千葉県が推進する「社員いきいき！元気な会社宣言企業」を対象に手数料を優遇した私募債の取扱いを開始し、4月中に第1号案件のお取扱いをいたしました。8月には、地元企業・大学と連携してマリスタジアムにおいて「サマーキッズスクール」を開催し、地域の子供たちを対象に解りやすい金融教育を実施するなど、新たな地域貢献活動に積極的に取り組んでおります。また、「美しい房総」写真展や千葉県に関する知識・情報をテーマとした無料公開講座コスモスセミナー、コスモスコンサートなどの文化活動、「小さな親切運動」の推進など社会奉仕活動は継続的に実施しております。これらの活動は、ディスクロージャー誌やミニ・ディスクロージャー誌に掲載するほか、ニュースリリースにより地元テレビ局や新聞等マスメディアによって報道されるなど積極的な情報開示に努めております。

## 2. 数値目標の進捗状況

取組み項目	数値目標 (平成19年4月～ 21年3月)	平成19年4月～20年3月の実績	進捗率(%)
各種ベンチャー企業の表彰制度への推薦	10社	4社	40.0
各種講演会、セミナーの開催数	50回以上	33回	66.0
創業・新事業支援融資	—	75件, 707百万円	—
営業斡旋、ビジネスマッチング等の提案件数	500件以上	288件	57.6
経営改善支援取組み率(注1)	—	12.5%	—
経営改善支援先に対する経営改善計画策定先数	20先以上	13先	65.0
経営改善支援先に対する債務者区分ランクアップ率(注2)	20%	6.2%	31.0
再生計画策定率(注3)	—	3.5%	—
事業再生に向けた取組み先数(注4)	10先以上	1先	10.0
個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資	—	「動産・債権譲渡担保融資」 …期中実行13先, 3,625百万円 「ノンリコースローン」 …期中実行2件, 301百万円 「財務制限条項活用融資」 …期中実行2件, 600百万円	—
千葉県が推進する「社員いきいき! 元気な会社宣言企業」登録企業数増加への応援	200社増加	101社増加	50.5
インターンシップの開催	50名以上	29名	58.0
職場体験学習の開催	10回以上	7回	70.0
年金等ライフプランニング相談会参加者数	5,000名以上	2,498名	49.9

(注1) 経営改善支援取組み率=12.5% [経営改善支援先258先(正常先除く)/期初債務者数2,069先(正常先除く)]

(注2) 経営改善先に対する債務者区分ランクアップ率は、平成19年度下期に選定先の見直しを実施したため、下期のみのランクアップ率を計上しております(平成19年度下期選定先258先(正常先除く)に対し下期に16先の債務者区分がランクアップ致しました)。

(注3) 再生計画策定率=3.5% [中小企業再生支援協議会計画策定先数9先(正常先除く)/経営改善支援先258先(正常先除く)]

(注4) 中小企業再生支援協議会支援決定、千葉中小企業再生ファンド活用、DES・DDSの活用、再生企業に対するエグジットファイナンス実行等の先数

以上